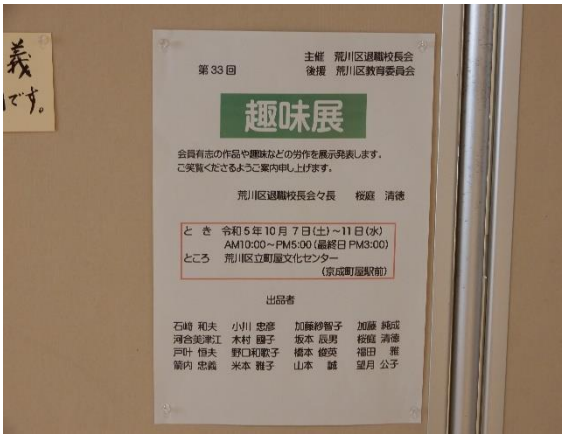
趣味展
城 那須 正 義
この作品は那須先生の篆刻です。


第33回
主催 荒川区退職校長会
後援 荒川区教育委員会
趣味展
会員有志の作品や趣味などの労作を展示発表します。
ご笑覧くださるようご案内申し上げます。
荒川区退職校長会々長 桜庭 清徳
とき 令和5年10月7日(土)～11日(水)
AM10:00～PM5:00(最終日PM3:00)
ところ 荒川区立町屋文化センター
(京成町屋駅前)
出品者
石崎 和夫 小川 忠彦 加藤紗智子 加藤 純成
河合純津江 木村 節子 坂本 辰男 桜庭 清徳
戸叶 恒夫 野口和歌子 橋本 俊英 福田 雅
簡内 忠義 米本 雅子 山本 誠 望月 公子

一般受付

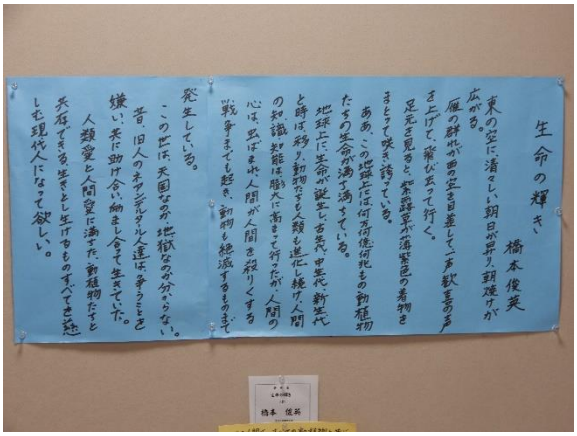
黒 曜 石
北海道(置戸・斜里周辺)
昔の人たちは、「石」で道具を作っていました。中でもマグマからできる「黒曜石」は、硬くて鋭い割れ目ができるので、最高の材料でした。

加藤 純成

清閑
木村 順子
黄花山霧
木村 順子

涼花
木村 順子

久米島の夏雨



生命の輝き

橋本 俊英

東の空に、清々しい朝日が昇り、朝焼けが広がる。
雁の群れが西の空を目差して、声歓喜の声を上げて、羽ばたいて行く。
足元を見ると、紫露草が薄紫色の着物きまとって咲き誇っている。
ああ、この地球上には何万何億何兆もの動植物たちの生命が満ち満ちている。
地球上に生命が誕生し古生代、中生代、新生代と時は移り、動物たちも人類も進化し続け、人間の知識、知能は膨大に高まって行った。が、人間の心は、貧ばまれ、人間が人間を殺りくする戦争までも起き、動物も絶滅するものまで発生している。
この世は、天国なのか、地獄なのか分からない。
昔、旧人のネアンデルタール人達は、争うことを嫌い、共に助け合い、働き合って生活していた。
人類堂と人間堂に満ちた、動植物たちと共存できる生きとし生ける物すべてを慈しむ現代人になって欲しい。

橋本 俊英